

豊かな自然の恵みと自然災害の脅威、森林が持つ公益的な機能の発揮



1983年に完成した箕面川ダム（治水ダム）

箕面の山麓部は急峻で、大阪平野から眺めると山が屏風のように見えます。この急斜面を流れてきた溪流が深いV字谷を刻んでいて、箕面大滝の他にも大小の滝が見られます。大滝と渓谷美に見られる自然景観、多様な生物が生息する**豊かな自然の恵み**は、古より多くの人々に親しまれてきました。

一方で、複数の断層が走り、地面の崩壊や地滑りが起こりやすい地形や地質により、過去にも度々、水害が発生し、自然災害に苦しめられてきました。箕面公園には**1951年の水害**で殉職された警察署長の石碑がたっています。**1967年7月の北摂豪雨**では、猪名川水系の大小の河川が氾濫し、4人が亡くなるなどの被害を受けました。

北摂豪雨を機に、**箕面川ダム**の建設が進められ、市街地を守る治水ダムとして、集中豪雨時の洪水調節や下流域の急激な流量増加を抑制する役割を果たしています。

市街地の背後に急峻な山がせまっており、ひとたび局地的な集中豪雨が発生すると、土石流が溪流沿いの倒木を巻き込み、流木が河川や水路をふさぎ、山すその市街地が冠水し、生命や財産を危険にさらす恐れがあります。

近年、大阪府により流出した土砂をせき止める砂防ダム、荒廃地の傾斜を緩くして土砂流出を防ぐ治山ダムが建設されていますが充分ではありません。さらに、箕面市が中心になって、市民や山林所有者などとの**協働による森林整備**の推進が求められており、**溪流添いの倒木撤去**、森の下層植生の衰退の原因である**増えすぎたシカの捕獲強化**など、森林が持つ水源涵養や土砂災害防止など、公益的な機能を最大限発揮させる対策が**喫緊の課題**となっています。

箕面の森林環境を守る、ヒグラシの声が聞こえる 夏の原風景を守る

お住いの近くでは、どのようなセミの声が聞こえていますか？セミは、生息している地域の自然環境を示す**環境指標生物**とされています。都市化が進んだ住宅地や公園にはクマゼミが、アブラゼミ、ニイニゼミ、ツクツクボウシは広く生息していますが、ヒグラシやミンミンゼミは、住宅地で見かけることはなく、森林が多い山間部に生息しています。

地球温暖化が進み、気象庁は、猛暑日（35℃以上）より危険な暑さの日を酷暑日（40℃以上）と決めました。それでも朝や夕方の涼しい時間帯に、「カナカナカナ…」と鳴きかわすヒグラシの声は、日本の夏の風情を感じさせてくれます。ヒグラシやミンミンゼミが生息できる**森林環境を守り育て活かす**ことが、**日本の原風景を守っていく**ことにつながります。

夏の夜、セミの幼虫が羽化する幻想的な姿を観察することができます。セミは地中で1～5年過ごしますが、子孫を残すため成虫として地上で活動するのは2～3週間です。羽化したてのセミには絶対に触らず、優しく見守ってくださいね。



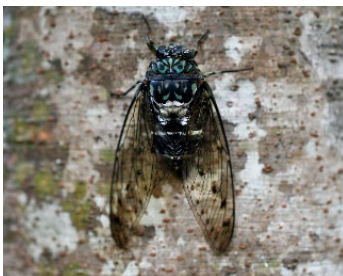
ヒグラシ



ヒグラシの幼虫



羽化



ミンミンゼミ



ツクツクボウシ



ニイニゼミ



アブラゼミ



クマゼミ



クマゼミの幼虫



羽化

第14回山林整備サポーター・ボランティア養成講座が行われました

みのお山麓保全委員会が主催する第14回山林整備ボランティア養成講座が、5月9日(土)、箕面市外院の民有林で実施されました。今回の講座への参加者は7名。午前中は目的や安全に関する講義、午後は間伐実習が行われました。午前の座学では、長年の放置とシカやイノシシなどの獣害で山林荒廃に拍車をかけている現状などを勉強。また、具体的な整備の方法や安全作業のための基本的なノウハウについての講義が行われました。



午後からは、二組に分かれて、「みのおフォレスターズ」のみなさんの指導で、立木の伐倒や伐倒後整理などの実習が行われました。受講生の中には、ノコギリの使い方に不慣れな人もいましたが、徐々にその感触に慣れてくると、いいリズムで切り進むようになりました。

民有地の山林整備ボランティア作業は、秋から冬が本番。今年度も10月後半から始まります。修了生のみなさんには、ぜひ、実践指導をしていただいた「みのおフォレスターズ」などの山林整備団体に入会してスキルアップを図り、秋からの本番に参加していただきたい！と思います。

みのお山とみどりのフェスティバル2026・みのお生物多様性研究フォーラム「市民参加によるモニタリングと生物多様性の取り組み～箕面のサクラが危ない～」を開催しました

5月24日(日)に船場生涯学習センター6階多目的室で開催。市民参加の生物モニタリング結果を通して、箕面の森をはじめ、大阪に生息する野生動物に関する理解を深めるとともに、あらためて生物多様性保全について、いま市民ができることを考える機会となりました。

講師として、(株)バイオーム代表取締役／藤木庄五郎氏、大阪府立環境農林水産総合研究所 生物多様性センター主幹研究員／幸田良介氏、大阪府立環境農林水産総合研究所 生物多様性センター主査／山本優一氏を招いてのフォーラムは、多くの市民のほかに、林野庁近畿中国森林管理局員、隣市の市民グループ代表、大学院生など、計50名の方にご参加いただきました。ディスカッションでは積極的な意見交換が行われ、フォーラムの後の交流会でも話が尽きることなく盛り上がりしました。※当日の詳細い報告内容は、山麓委員会ホームページ(山なみネット)で見られます。



【クビアカツヤカミキリ】

サクラなどのバラ科の樹木を食い荒らす特定外来生物。もし、見つけた場合は、各市町村の担当部局への連絡とともに、踏みつけるなど、その場での駆除をお願いします。



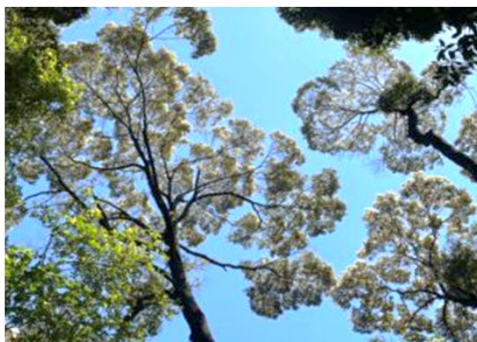
ふれあい広場「みのおの山と遊ぼう！」のイベントを開催しました

4月29日(祝)、みのおキューズモールキューズステージ前広場で「みのおの山と遊ぼう！」を開催しました。箕面の山や森で、「守り」「育て」「活かす」活動をしている市民団体などが、日ごろの活動内容を紹介し、来場のみなさんに箕面の山に親しんでもらうことが目的のこのイベントは、今回で6回目。ボランティアスタッフ113人のほか、有料のゲームや木工品の購入や募金をいただいた来場者約400人を含め、総勢1200人を超える市民のみなさんに参加いただきました。



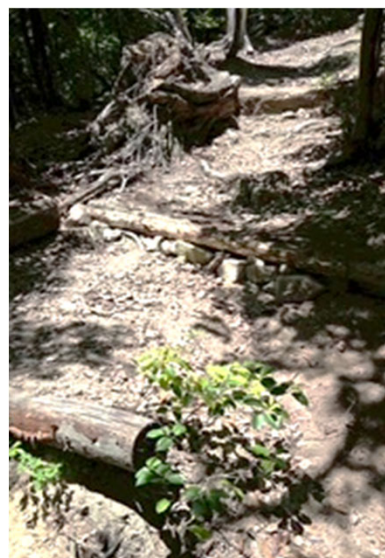
新緑リトリート2026(箕面観光協会主催)で「みのお森のセラピー」を開催

抜けるような青空に、風、薫る 5月5日(祝・こどもの日)、箕面観光協会主催「Minoh 新緑リトリート2026」イベントで、山麓委員会「森のセラピー研究会」が協力、「ととのう森時間」をキーワードに、トレイルランニングと瞑想&ハンモック体験”を実施しました。当日は子どもを含む50名が参加。前半は森の中の5kmのトレイルランニング、後半の瞑想とハンモック体験では、あちらこちらから「ああ～、ととのうわ～」 「うう～、いやされる～」という声が漏れていました。



市民ボランティア「MAP」が箕面のハイキング道のゴミ拾いや補修活動を実施

市民ボランティア団体「MAP(Minoh Architecture Project)」は、トレイルランニング愛好家で組織されたグループで、箕面の山のハイキング道のゴミ拾いや補修活動のほか河川敷の清掃活動などを行っています。5月17日(日)、MAPのみなさん12名で、瀧安寺前広場西側の山の中にある桜谷休憩所上の「山の神」から教学の森に向かうトレイルのゴミ拾いと補修活動を行いました。日頃トレランで利用する箕面の山の道に、「自分たちもなにか恩返しをしたい・・・」。次回は山パトロール隊のみなさんとコラボした清掃活動を計画中。山麓委員会ではこうした市民活動を支援しています。



第22回みのお森の学校～人と自然の入門講座～ 9月開校・受講生募集

箕面の自然のこと、森のこと、もっと知りたい、学びたい人のための社会人講座です。森の役割、生き物のつながりを学びながら、自然観察や、森の自然素材を使ったクリスマスリース作りや、里山の整備体験を行います。また、これらの学びを通して、いっしょに森を楽しむ新しい仲間にも出会えます。修了生の多くは、「みのおの森の守りびと」として、箕面の山で活動する様々な団体で活躍しています。

- ★ 開催期間: **2026年9月27日(日)～2027年6月13日(日)**
全12回 (24講座: 月1～2回の日曜日に実施)
- ★ 内容: 午前(10時～12時) 講義 ・ 午後(13時～15時) 実習
- ★ 受講料: 17,000円 (見学会などの交通費は別途必要です)
- ★ 定員: 20名(受付順)



詳細や申込はこちら



午前の講義は様々な知識を学びます



午後は箕面の森などをフィールドにします



山林整備の実践も体験します

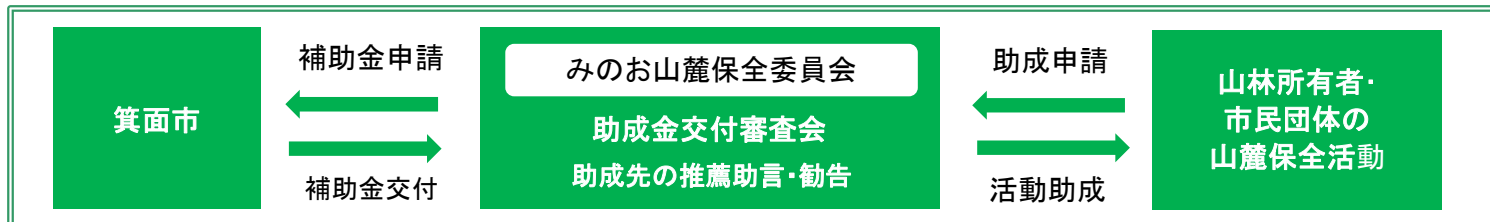


みのお山麓保全活動助成（2026年度後期） 8月1日～8月31日 募集開始

みのお山麓保全活動助成金は、四季折々に美しい箕面のみどり豊かな山麓を守り、育て、活かすための、山林所有者や市民団体を応援する(助成)する仕組みです。NPO法人みのお山麓保全委員会は、中間支援組織として、山林所有者や市民の活動支援や助成金を活用した活動の相談や助成申請の受付などの業務を行っています。

- 申請受付期間: **8月1日(土)～31日(月)** ○助成金額: 1件あたり25万円以内
○助成の流れ: 受付⇒ 審査会で助成先決定(9月下旬頃)⇒ 助成(11月上旬頃)

《みのお山麓保全活動助成の仕組み》



■山林所有者への助成 ⇒ 箕面市環境保全条例により「自然緑地」として指定された山林において、その所有者が里山の管理を行う場合の助成金額は、土地登記簿面積1㎡あたり25円と計算します。(上限25万円)

■市民団体への助成 ⇒ 山麓を守り、育て、活かす市民活動が助成対象です。



里山の清掃



里山文化の育成



山林の整備



防鹿ネット設置

(注) 山麓保全活動の助成は箕面市の2026年度の補助金予算の範囲内で行います。このため、全体の応募件数によっては、助成の要件を満たす団体・活動であっても必ずしも助成の対象とならないことがあります。また、助成金の額は助成の対象となる活動にかかる経費であっても、必ずしも申請 どのりの額を助成できるものではないことをご承知ください。

《2025年度(2月期、8月期計) みのお山麓保全活動助成の実績》

- 山林所有者(箕面市環境保全条例による自然緑地指定同意書提出者)による活動を助成
件数:91件(前年比+1件)、助成金額:9,675,800円(前年比+427,000円)
☆山林整備ボランティア派遣要請件数:62件(前年比±0件) ☆自然緑地同意新規件数2件(前年比+2件)
- 市民団体等による活動を助成
件数19件(前年比+1件、助成金額:2,041,000円(+70,000円))

NPO法人みのお山麓保全委員会の第25回定期総会を開催しました



山麓委員会の新たなユニフォーム

■NPO山麓保全委員会は、5月31日(日)、第25回定期総会を開き、2025年度事業報告・決算報告、2026年度事業計画・活動予算及び下記の役員選任案が承認されました。理事には、角山年昭、村上竜太、中川弘佳、安田勇人、鹿島幸子、永浜久美恵、岩崎昭司、住川昌司(以上、再任)、山北郁子(新任)、監事には山内一浩(再任)が選任。総会終了後の理事会で代表理事に角山年昭(再任)、副代表理事に村上竜太、中川弘佳、安田勇人(以上再任)が互選されました。

NPO法人 みのお山麓保全委員会

〒562-0001箕面市箕面1-2-6 箕面駅前ビル301号室

電話&FAX:072-724-3615

メール:yama-nami@yama-nami.net

ホームページ: <https://yama-nami.net>(検索:山なみネット)

* 箕面の山麓保全情報のポータルサイト「みのお山なみネット」

